

令和7年度 湯河原町議会
意見交換会 報告書

1	意見交換会概要	……	1
2	意見交換会内容	……	2 ～ 14
3	アンケート結果	……	15 ～ 16
4	写 真	……	17
5	参考資料	……	18 ～ 19

1 意見交換会概要

- 1 日 時 令和8年2月13日（金）午後6時～午後7時30分
- 2 場 所 湯河原町防災コミュニティセンター205会議室
- 3 出席者 湯河原町議会議員 14人
Aグループ 熊谷議員、渡辺議員、松野議員、室伏議員
Bグループ 早乙女議員、石井議員、山本議員
Cグループ 貴田議員、善本議員、松井議員
Dグループ 笠原議員、上田議員、村瀬議員、土屋議員
- 4 参加者 23人
- (1) 地区別
- | | | | |
|--------|----|-------|----|
| ・吉浜地区 | 7人 | ・土肥地区 | 4人 |
| ・鍛冶屋地区 | 3人 | ・宮上地区 | 2人 |
| ・宮下地区 | 2人 | ・川堀地区 | 2人 |
| ・城堀地区 | 1人 | ・中央地区 | 1人 |
| ・門川地区 | 1人 | | |
- (2) グループ別
- | | |
|-------|----|
| Aグループ | 5人 |
| Bグループ | 6人 |
| Cグループ | 6人 |
| Dグループ | 6人 |

Aグループ

熊谷	照男	議員	(進行)
渡辺	久子	議員	
松野	洋一	議員	(記録)
室伏	寿美夫	議員	(記録)

1. 意見交換テーマ（①保育園、小・中学校の在り方について、②公共交通について、③町や議会の情報発信について、④湯河原町の将来像について）決定までのプロセス

来ていただいた方々に、それぞれのテーマについて一番興味があるかを伺い、特に意見の多かった2つのテーマについて、話し合うことにしました。

2. 意見交換内容

【テーマ1 公共交通について】

●参加者からの声

バスの便数が少ない、ライドシェアや乗合タクシーの拡大、バスの運転手確保への施策等対応策を考えるべき、コミュニティバスの運行経費の上昇額は妥当なのか、議会として更に行政を監視して欲しいなど、ご意見をいただきました。

●議員側からの意見

現在の路線バス・コミュニティバスの現状について話し、総務文教・福祉常任委員会内での委員の意見も報告させていただいた。

また、町としても運転手確保の施策検討や、議会としてもライドシェアの研究などを行なってきた旨、お伝えした。

運行経費については、今まで運行会社の企業努力で経費もなるべく抑えてきたが、人件費や経費の高騰、法律改正で上昇している説明、もちろん行政の監視機能として役割を果たしていくが、ただ、公共交通に関しては「お願いをして、何とかやっただけだ」というのが実情で、湯河原町に限ったことではなく、路線バスについても民間事業者のサービスであり、町が主導して実施できるわけではない状況はご理解いただきたいとお願いしました。

●今後の課題

どれだけ民間事業者に、長く続けていただくか、また、それと並行して有効的な新しい施策を研究し、早期に実行することが重要である。

【テーマ2 まちの将来像について】

●参加者からの声

住みやすい環境を整えていかなければ、町民の数は減っていく一方である。また、民間の力を活用していくべき。

小田急の乗り入れなどを提案すべきで、お金をかけずに人口を増やすことが大事だと思う。

人口減少することを前提にどのような町の将来像を描いているのかを聞きたい。

●議員側からの意見

小田急乗り入れに関しては前から要望を挙げ、検討していたが線路幅や事業費の問題などで、実現が難しかった。

移住に関しては、町の回遊性を高めていくことが重要。民間活力の活用はもちろん必要ではあるので、今後も取り組んでいく。新たな宿泊税もそうですが、ふるさと納税なども含めて、外貨を稼ぐ方法を考えていかなければならないと思っている。若者も働く場所がなければ、町を出ていってしまう。

また、役場や学校など、ハード面の再整備も行なっていかなければならない。20・30年先を考えて政治判断をすることが大事だとの意見があった。

●今後の課題

町の基幹産業である観光業に、どれだけ大きな民間活力を活用し、新たな外貨を稼ぎ、先の未来像に向けて、スピード感をもった判断ができるかが重要になってくる。

3. 意見交換会を受けて（今回の感想、今後の方向性など）

実施時間、曜日、場所の検討が必要。場合によっては複数の日時、時間、場所等。今後も、報告よりも意見交換に重点をおいて行なっていくことが望ましい。

Bグループ

早乙女	智子	議員	(記録)
石井	温	議員	(記録)
山本	俊明	議員	(進行)

1. 意見交換テーマ（①保育園、小・中学校の在り方について、②公共交通について、③町や議会の情報発信について、④湯河原町の将来像について）決定までのプロセス

テーマは以下の2つとなった。

- ①保育園、小・中学校の在り方について
- ②公共交通について

テーマを決めるに当たり、無記名で投票を行い、テーマ① 4票、テーマ② 2票、テーマ③ 1票、テーマ④ 2票と、テーマ②と④が同票となった。

まず、テーマ①について話し合う中で、湯河原町の将来像をどう考えるかが前提になれば子どもたちの教育のことを話し合いにくいとの指摘があった。少子高齢化の湯河原町で、人口が増えると考えerのかどうかや、そのためにどうするかなど、様々な意見が交わされた。

テーマ④についてはテーマ①の中で話題になったので、2つ目はテーマについて話しあうことになった。

2. 意見交換内容

【テーマ1 保育園、小・中学校の在り方について】

●参加者からの声

久しぶりに湯河原町で待機児童が出そうであることについて、なぜ保育士が足りないのか、その対応はどうなっているかについて質問があった。

小学校3校に対して保育園4園はむしろ多いのではないかとの意見もあった。

保育士の待遇として宿舍や住宅手当など手厚くしてはどうか。保育士について、タイミーなどのような隙間時間に時間給で働く方法もあるのではないか。ボランティアの活用はどうか、という意見もあった。

もっと町民の力をボランティアなどで活用して欲しいとの声もあった。

小学校の統廃合については、町はどう考えているのか、との質問があった。

東台福浦小学校では、すでに一学年の人数が少なく、グループ作りなどが難しくなっているのではないか。

外国籍の子どもも湯河原の子どもなので、きちんと対応して欲しい。

町がどう考えているのかなどは資料がないとわからない。

●議員側からの意見

町側から議会に報告のあった事項について説明した。議会側も心配している保育士不足については、現在対応中である。保育士の処遇改善はいいアイデアだと思う。

小中学校については今後どうなるかまだ方向性が見えていない。一学年の人数があまり減ると、共同生活での学びが減ると思われるので対応が必要である。

●今後の課題

行政の動きや議会の働きについて、町民への周知ができていないと思われた。

また、どの時点でのどのような課題について考えるかで議論も結果も異なるので、課題の設定が難しい。

【テーマ2 公共交通について】

●参加者からの声

運転手不足などマンパワー不足をどうするか。一方で、公共交通でなければならないのかという疑問も提示された。自動化運転の導入やライドシェアなども考えられる。

コミュニティバスをもっと増やして欲しい。

近所づきあいなど地域や自力で何とかできないか。

高齢者では自分で運転できない場合、公共交通機関が頼りになる。

町のサイズとしてコンパクトシティ化は可能か考える必要がある。

●議員側からの意見

現在は減便を避けるために、町として補助が出ているが、それも限界がある。今後、オンデマンドのバスや、町営バスの運行なども考える必要があるかもしれない。

●今後の課題

コンパクトシティ化は理想であるが、現実としては十分な議論と計画が必要である。

また、労働の担い手については、既存の考え方や働き方の見直しも必要であると思われた。

3. 意見交換会を受けて（今回の感想、今後の方向性など）

- ・参加者は多くはなかったが、活発な意見交換ができた。
- ・資料があったほうが良かったとの意見があったので次回検討が必要。
- ・町民に行政の動きや議会の働きが理解されていない面があったので、情報提供やこうした意見交換会が需要である。
- ・4つのグループのテーブルをなるべく離すように設営したが、話し声が聞こえづらいとの意見があった。改善の必要がある。

Cグループ

貴 田 太 史 議員 (記録)
善 本 真 人 議員 (進行)
松 井 一 寿 議員

1. 意見交換テーマ（①保育園、小・中学校の在り方について、②公共交通について、③町や議会の情報発信について、④湯河原町の将来像について）決定までのプロセス

高齢者の運転免許自主返納が推奨されている中、免許返納後の移動手段に不安を感じているという意見が多く、テーマ1は「公共交通について」に決定した。

テーマ2については、ホームページ、広報紙、メールマガジン、住民説明会等様々な手段を活用して行政側が情報発信を行っている一方で、町長や議会側からの発信が不足しているという意見があり、「町や議会の情報発信について」に決定した。

また、残余時間を利用し「保育園、小・中学校の在り方について」の意見交換を行った。

2. 意見交換内容

【テーマ1 公共交通について】

●参加者からの声

路線バスに関して、バス会社から路線退出が要望されている状況を懸念している中、コミュニティバスの運行ルートや頻度及び時間帯に対して物足りなさを感じており、町民の生活スタイルに合った利便性向上を望んでいる。ただし、料金に関しては、比較的安価であるという意見が多かった。

予約型乗合い交通「ゆたぼん号」に関しては、鍛冶屋、福浦エリアの増便を要望する意見も上がったが、全体的には、拡充をあまり望んでいない印象を受けた。

今後の在り方としては、既存の公共交通を維持しながら、新しい交通システムやサービスを構築していくべきという意見があがり、一例として、病院や民間企業の送迎バス及び宅急便の貨客混載など、法人・企業の交通手段を活用するシステムと、バス・タクシー利用助成券の交付サービスがあげられた。

全体として、町の方向性が不透明であることや、抜本的な対策が存在しないことに不安を感じており、それらに関する質問が多かった。

●議員側からの意見

公共交通空白地域の解消には、運行の柔軟性が高い予約型乗合い交通「ゆたぼん号」のエリア拡充を進めていくべきであるが、利便性の高さに加え、乗車率と稼働率が増えるほど行政負担が減るコミュニティバスの可能性を探っていくべきだと考える。

また、財源や人材確保等の実現性を度外視した場合、町民は安定的な運行が確保できる町営バスを望んでいることも理解している。

●今後の課題

現在は、バス会社や運行委託会社の運転手不足と併せて、公共交通維持のために赤字補填や運行経費の一部を負担しており、どちらの課題に対しても解決策がない

状況である。今後は、既存の公共交通を維持していくと同時に他自治体の先行事例を参考にして新しい交通システムやサービスの研究を行うなど、将来を見据えた総合的な検討が必要である。

【テーマ2 町や議会の情報発信について】

●参加者からの声

公開されている会議録では議論のプロセスがわかりづらく、また専門的な審査・調査状況をより知りたいという理由から、定点撮影や録画配信など簡易的な方式で良いので、委員会の映像配信を行って欲しいとの意見が多くあがった。効果としては、傍聴に対する利便性を高め、町民の協働意識の醸成等が期待できる。

また、町長に対しても同様の理由から、情報発信を頻繁に行って欲しいとの要望があがった。さらに前町長が実施していた町政懇談会のような意見交換機会の復活を望んでいる。

●議員側からの意見

議会でも慎重に検討を進めていきたいが、運用予算や技術的な問題、また著作権・個人情報に関わる運用ルールの整備等、課題が多方面に及ぶため、最終的な議決が行われる本会議のライブ配信と重要性を比較しながら、総合的に判断していかなければならない。

その補完として、町民の声を直接聞いて説明することが、議員の役割として必要なことであると考える。

●今後の課題

より分かりやすく議会の情報を発信することが求められている中で、映像配信に関しては、「議員側からの意見」に示している課題と併せて、一方的な発信になりがちという課題がある。

そのため、対話性、双方向性を確保しながら、町民により分かりやすい情報発信の手段を検討していく必要がある。

【テーマ3 保育園、小・中学校の在り方について】

●参加者からの声

教職員の業務負担により、統廃合による小学校1校体制には反対との意見があった。また、保育園、小中学校の在り方を協議する協議会の設置予定に関する質問があった。

●議員側からの意見

現在、「教育・保育の在り方調査特別委員会」を設置し、小学校の在り方は最優先

に位置付けスピード感を上げて検討している。

協議会の設置については、教育委員会の検討状況も含め、まだその段階に至っていないと判断する。

●今後の課題

小中学校の在り方に関しては、子どもたちへの最適な教育環境の調査・研究を進めている中で、財源確保、長距離通学、地域コミュニティへの配慮、廃校跡地の有効活用等、課題が山積みの状況である。諸問題に対し、教育委員会の検討状況と合わせて、「教育・保育の在り方調査特別委員会」の中でスピード感を上げて検討していく。

3. 意見交換会を受けて（今回の感想、今後の方向性など）

今回の意見交換会を通して、町民の皆さまが日常生活に直結する課題として、特に公共交通、教育問題、そして、町や議会の情報発信の在り方に強い関心を持っていることを改めて感じた。

今年度は問題テーマを定めたことにより、昨年度と比較して論議が発散せず、問題を深掘りした活発な話し合いが行われたが、グループ内の知識レベルを補完するための説明に多少時間を割かれた印象を受けるため、今後は予め資料を用意する等の工夫を行うことで、より建設的な意見交換が行えると考えている。

また、大会議室内に全グループのテーブルを設置したため、他グループの音に声が干渉され聞こえづらい場面や、集中できない場面があり、改善が必要だと感じた。

Dグループ

笠原進	議員
上田尚彦	議員 (記録)
村瀬公大	議員 (進行)
土屋誠一	議員

1. 意見交換テーマ（①保育園、小・中学校の在り方について、②公共交通について、③町や議会の情報発信について、④湯河原町の将来像について）決定までのプロセス

①保育園、小・中学校の在り方について

②公共交通について

挙手による多数決で決定した。

2. 意見交換内容

【テーマ1 保育園、小・中学校の在り方について】

●参加者からの声

- ・統廃合をした場合、小さい子供が通える状態なのか、スクールバスを運用するのは可能なのか、そうすると予算的に問題ないのか。
- ・真鶴の駅裏に学校がある。統廃合した場合、福浦等は真鶴に通ったほうが通いやすい。真鶴町と一緒に学校を運営できないのか。
- ・今後、小学校を統一する場合、通学が遠距離になるため、通学バスの運行に関しては、車体等資産は行政、運営はバス会社というシステムを採用している事例が広島県にあるが、それによりバス会社の負担が減るのではないか。
- ・学校内でのいじめ対策として防犯カメラを設置してはどうか。
- ・保育園、小学校の在り方について、行政・議会・町民で話し合う委員会を設置してはどうか。
- ・お年寄りと子供が接する学校は全国にあるが、必ずしも上手くいっているとは限らない。全国の5年後、10年後の事例を調べると長続きしない事例が散見される。データが決定していることで逆に邪魔している。トップリーダーが変わったりすると続かない事例が多い。子供たちをどうするか？ということを出だしの部分で決めないといけない。赤字でもやらなくてはいけないことが教育にはある。理想を言ってはきりが無い。データと理想と現実を組み合わせていくのかというのが大事ではないか。

●議員側からの意見

- ・各学年複数クラスでの学校運営を見据え、「教育・保育の在り方調査特別委員会」で検討している。
- ・現状は幼稚園及び小学校は統廃合ありきの段階ではないので、いろいろなご意見をお聞きしたい。
- ・現状として湯河原町・真鶴町・熱海市泉地区での区域外就学が認められている。熱海市の泉中学校の廃校の問題も上がっている。通学に関して一つ一つできることから進めていくように働きかける。

●今後の課題

- ・保育園、小学校の現状と近い将来の見通しに関して、町民の皆さんに知ってもらうことを働きかける。
- ・小学校の統廃合を実施する場合、生徒が通学することに関する負担に関して調査研究を働きかける。
- ・意見交換を通じて、保育園、小学校の在り方について、町民を交えて考えていく必要性をより一層感じた。

【テーマ2 公共交通について】

●参加者からの声

- ・町がバス会社に支払っている金額はいくらか。
- ・町のコミュニティバスを小型化して町の職員が運転するのはできないのか。
- ・バス停があまりにもボロボロなのでなんとかならないか。
- ・地域公共交通会議においてあまり意見が出ない。先生という立場の人が司会進行する。先生が意見を言うと誰も意見を言わなくなる。会議の運営方法に工夫をして欲しい。
- ・地域公共交通会議において、タクシー乗り場の問題も事故が起きているのにとりあげてもらっていない。

●議員側からの意見

- ・町の職員が小型化したバスを運転することは、運賃を徴収するため、二種免許取得が必要になり、かつ負担も多いため、難しい。
- ・バス停の改修については、バス会社のことなので、町に要望を出すように働きかけることはできる。
- ・地域公共交通会議は町長の諮問機関で決定機関ではなく、あくまで意見交換をする調整の場である。地域政策課が事務局をしているので、意見を聞いていないということはない。
- ・新たな交通手段等の検討もしている。皆さんのお声をもっと聞きたい。

●今後の課題

- ・町の財政状況や利用者数の推移、町民の要望などを踏まえ、さまざまな角度から議会としても考えていく必要がある。

3. 意見交換会を受けて（今回の感想、今後の方向性など）

- ・テーマ設定は、引き続き検討。
- ・行政と議会のそれぞれの役割や関係性をもっと理解していただく取組の推進。
- ・来年に向けて今回の方式（グループによる意見交換形式）を含め、より町民にとって透明性の高い議会になるよう、さらなる検討。

1 本日の意見交換会に対するご意見・ご感想など

(1)感想

- ・意見交換会だけに絞った開催良かったと思います。
- ・色んな意見が聞けて楽しかった。
- ・町の方々の意見をたくさん聞けたので、とても勉強になりました。
- ・とても有意義な意見交換ができました。お話もたくさん聞けてよかったです。
- ・見聞が広がりました。ありがとうございました。
- ・初めて参加しましたが、少しでも町の状況が知れて良かったです。これからもっと自分から町を知る努力をしようと思いました。
- ・様々な立場の人の意見があり、興味深いところがあった。
- ・有意義な意見交換が出来ました。私たち住民自身で何が出来るか？をさらに考える時間をもてました。
- ・公共交通についてをテーマにして欲しいとお願いしましたが、他の方からの意見で気づかされることも多かったです。スクールバスの運用や旅館・ホテルなどが所有する車両の活用などトータルで考える。
- ・ありがとうございました。議論の今回の内容がどのように生かされるか注視しています。
- ・初めて参加させて頂きました。今後も参加させて頂きたいと思います。
- ・出席者が少なく関心の薄さに悲しさを感じました。本日の交換会での意見を参考にして頂き、今後を期待しております。
- ・議員さんたちからも総評をもらえてよかったです。
- ・議員さんが日頃議会で行っていることが少し見れてとてもよかったです。

(2)意見交換会のやり方について

- ・意見交換会のテーマについて、事前にたたき台になる様な資料があれば、より建設的な議論になった気がする（案内を出す際に資料へとべるリンクを貼るとか、チラシの裏面に簡単に要点や問題点、ポイントをまとめて記載しておく等）
- ・もうすこし、つつこんだ話をするためのたたき台が欲しかった。次回に。
- ・1つか2つのテーマごとに、A～Dの班を構成するともっと意見が集中してできたのではないかと思います。
- ・テーマをその場で決めるのは、話し合いは難しい。
- ・年に3回程開催してほしい。

(3)その他

- ・実施要項第8条2及び3に記載がある通り、議会運営委員会において、評価及び総括を行って頂きたいと思います。

2 次回開催時に聞きたいこと、やってほしいこと

(1)聞きたいこと

- ・ロケツアーリズム事業
- ・宿泊税の使いみち
- ・移住者増加の検討
- ・教育・学校のこと（統合など）
- ・災害対策についてもお話しさせて頂きたいと思います。
- ・今回の意見交換会で、“結局、金の問題か”と思うことが多かったので、町の収支とか今後の展望をききたい。
- ・行政側と議会側で現在～今後、議論している、議論が必要と議会側が考えている大きな課題、テーマについてペーパー配布でもいいので住民に説明、解説をして欲しい。

(2)やって欲しいこと

- ・若年層向けに開催していただきたいです。（集まるかは別として）
- ・参加者に世代のかたまりを感じました。20代、30代、40代の方が増えたらもっといろんな意見がでるかなと思いました。
- ・頻繁にやってほしい。大変だけど議会のことアピールできると思う。
- ・情報発信を良くする方法
- ・議会の放映

(3)その他

- ・話したいテーマごとにテーブルを決めてみては？
- ・SNSを利用して、湯河原町を宣伝してほしい。
- ・軸になる意見があって話が発展すると思います。

4 写真

議長あいさつ



報告事項



全体の様子



Aグループ



Bグループ



Cグループ



Dグループ



5 参考資料

タイムスケジュール

時 間		内 容	備 考
18:00 ~ 18:10	10分	開会	議会運営委員会 委員長
		あいさつ	議長
18:10 ~ 18:15	5分	報告（ニホンザル被害に関すること）	環境観光産業 常任委員会 委員長
18:15 ~ 19:30	1時間 15分	意見交換会（各グループ）	

役 割 分 担

開会（司会進行）	松井一寿 議会運営委員長
あいさつ	村瀬公大 議長
報告	石井 温 環境観光産業常任委員会委員長
意見交換会のグループ	<p>Aグループ 熊谷 議員（進行）・渡辺 議員・ 松野 議員（記録）・室伏 議員（記録）</p> <p>Bグループ 早乙女 議員（記録）・石井 議員（記録）・ 山本 議員（進行）</p> <p>Cグループ 貴田 議員（記録）・善本 議員（進行）・ 松井 議員</p> <p>Dグループ 笠原 議員・上田 議員（記録）・ 村瀬 議員（進行）・土屋 議員</p>